



お寺といえども情報化社会においてはITなんて関係ないなんて言われてられません。正しい知識を身につけて、教化活動に活かしましょう!

お寺だってIT No.9

～ パソコンを使えるようになるには? (2) ～

前回、パソコンは単なる道具である、というお話をしました。そしてまずは「やりたいこと」を見つけるのが、パソコンを使えるようになる入口だと。

ではパソコンになにができるのか。事務関係で言えば、法要の案内や寺報などを見栄えのいいものにしたい。門徒さんの住所の管理や宛名書きをしたい。帳簿をつけたい…などなど。もちろん手書きでも寺報を作れますし、宛名や帳簿も他の方法でもできます。しかし、パソコンで作ればきれいですし、前回作ったものと呼び出して使い回しができます。住所録なら一度作ると封筒や葉書など色々なものに印刷できます。帳簿なら自動で計算してくれるようにもできますし、日付順に並べ替えることもできます。

趣味の分野でしたら、例えば旅先で撮った写真をきれいに取っておきたい。イラストを描きたい。ビデオカメラで撮った動画を編集してかっこよくしたい。ひとりで音楽をやりたい。たまりにたまった本をパソコンに取り込んですっきりしたい。離れた子どもや孫とテレビ電話したい。マイナーな趣味の同好の士を見つけない。自分の文章や意見を発表したい。思いつくままに並べましたが、それぞれ、さまざまな「やりたいこと」があるはずです。

そして、これらの「やりたいこと」に応じて、専用のソフトを使うなり、周辺機器を買うなりしていくということになります。そうは言っても、やっぱり何ができて何ができないかがわからない、どうやってやったらいいかわからない……と思われるでしょう。そんな時は、インターネットでの検索もいいですが、まわりのパソコンに詳しい人、あるいはホームページ委員会に質問するのが一番ですよ。【委員KS】

パソコン相談室

○日時 毎月第二・第四木曜 午後5時～7時

○場所 教化センター2F・青少年ルーム

※予め教務所に訪問日と質問内容をご連絡いただけますと
それに合わせた準備ができますので助かります。

連絡先 大阪教務所 06-6251-4720

◆ 大阪教区ホームページ実行委員会 ◆

銀杏通信 <http://www.icho.gr.jp/>